

令和5年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.		17-	1
事業名	社会教育諸経費	会計 一般	款 10
政策	6 人生を豊かにするために	項 5	目 1
施策	6-2 青少年の健全育成	課名	社会教育課
		係名	生涯学習係

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町内の青少年	目的 (対象がどのような状態になっているか)	青少年育成町民会議の活動を通じ、青少年の非行を防止し健全育成を図る。
事業内容	青少年の健全育成を図るため、町青少年育成町民会議を主体として、学校、家庭、地域などが一体となって取り組む体制を確立し、青少年のまちづくり活動等への参画促進や地域全体での育成支援を推進する。また、二十歳を迎えた記念として、社会の仲間入りを自覚する機会を提供するため、二十歳を迎えた当事者が実行委員会委員となって二十歳を祝う会を開催する。 ・青少年育成町民会議の主な活動 町内啓発活動、夜間パトロール、ありがとうの花を咲かせよう推進、町民歩け歩こう会、指導員会議、校区活動			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1	二十歳を祝う会に参加した人数の割合	80.5	76.2	80.9	%	↑
2							
3							
4							
5							
		令和4年度 (決算)		令和5年度 (決算)		令和6年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B				5,826	11,201	6,217	
財源内訳	直接事業費 A			3,960	8,387	3,667	
	うち一般財源			3,960	5,887	3,667	
人件費 (千円) B				1,866	2,814	2,550	
内訳	一般職員 (人・千円)	0.28	1848	0.38	2508	0.34	2244
	臨時職員 (人・千円)	0.01	18	0.17	306	0.17	306

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	C対象が広すぎる
				コストの削減	A削減の余地はない	
総合評価	III 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R5年度の改善計画	青少年の健全育成を図る青少年育成事業、二十歳を祝う会、人権教育事業について、それぞれの課題を整理し、状況に即した取り組みを推進する。	③取組の課題	青少年育成会議内での情報共有と各地元への伝達と事業の見直し。
②R5年度に実施した取り組み	歩け歩こう会は2回企画し、共に天候不良により中止。ヴィアティン三重との協働イベントや笹尾まつり、稲部小学校等であらうの花を咲かせよう運動を実施。青少年等インターネット適正利用促進出前講座を活用しての講演会実施。また、こども交流事業では東員町と大台町の児童と交流を図った。その他「二十歳を祝う会」では、式典内容を一部変更し開催した。	④今後の改善計画	青少年育成会議事業の効率化と効果的な組織形態等を協議検討する。